

# ご成人おめでとう

## 竜丘地区成人式 盛大に開催



一月七日に竜丘公民館にて、竜丘地区成人式が行われました。成人百三名のうち七十八名が参加し、新成人の門出を盛大に祝福しました。



発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

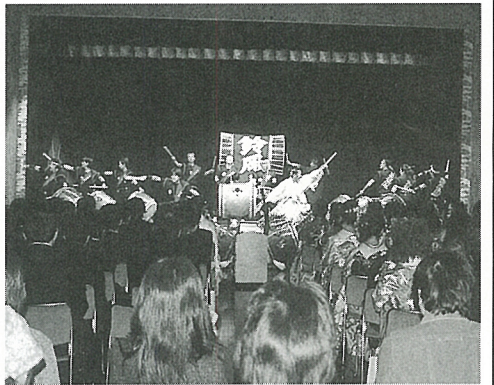
人口	6,813人
男子	3,349人
女子	3,464人
世帯数	2,193戸
(19年1月末現在)	

当日は、雪も積もる天候ではありましたが、新成人のみなさんの明るい笑顔の輪が、会場に入り友人たちと再会するたびに、広がっていききました。

式典は三部構成で行なわれ、第一部では、来賓の方々から祝辞を頂きました。新成人代表の小林祐樹さんのあいさつでは、「今の時代、いじめの問題や自殺の問題など、暗いイメージがありますが、自分は、命を大切に、知り合った友人を大切に、社会の責任を担える人間になりたい。」と素晴らしく感動させられるあいさつでした。

牧野飯田市長もご来賓頂くことができました。「激動の世界の中、それぞれの道を歩みながら、地域に住み、活躍してもらいたい。」と、新成人にエールを送られました。

第二部は、実行委員五名を中心に企画した、ステージ発表がありました。「思い出のアルバム」では、保育園から小学校時代のスライドを使い、新井由佳さんの語りをバックに、思い出を振り返りました。一枚一枚画面が変わるたびに「なつかしい」「かわいい」「あれ誰れ」などと、会場のあちらこちらで声が上がりました。次に地元で活動するサークルの舞台がありました。ダンスユニット「A4」



新成人の勇壮な演奏

のダンスでは、会場の雰囲気が一気に華やかに変わりました。今回の実行委員二人の方も、仲間のみなさんの

と、友人たちの前で披露していました。塩沢実奈さんの歌の際は、歌に聞き入って静かな会場内となりました。「鈴岡太鼓」の演奏では、下平達也さんが袴姿で、仲間皆さんの太鼓の皆さんと太鼓を叩き、とても勇壮な姿でした。また、幕間には、司会者の中島綾香さんが入りの、間の取り方がうまい進



行でした。最後に、中学時代の恩師七名のビデオレターが流れ、昔をなつかしみました。数ヶ月前より、参加したみんなが楽しくできる様にと、企画してくれました。実行委員のみなさんの、努力が実った記念行事となりました。

第三部の祝宴では、「おいしんぼプラザ」「のらくろ」の、地元の皆さんが用意を下さった料理に舌鼓を打ちながら、友人・地域の方々、和やかな時間を過ごすことができました。

最後に打上げ花火で新

### 挑戦

駄科 新井由佳



私が成人式実行委員をやるという事は、小学校・中学校・高校での私では考えられないことでした。人の前に出て話をするのが苦手で、先に立てて進めていくことは、私にはできない、絶対無理なことだと思っていました。実行委員に決まった時、私にできるのかと不安でした。しかし、不安な気持ちと同時に、一生一度の成人式を良い思い出にしたい、今までの自分を方達に楽しんでもらいたい、

一月七日に無事成人式を迎える事ができました。この二十年を振り返ってみると、一番大きい事は地元の和太鼓に出会えた事でした。小学校から始めて中学・高校と続けて今でも地元で就職しています。

小さい頃は嫌々練習していた記憶がありますが、太鼓の楽しさを知ってからは練習が待ち遠しく思えるようになりました。

### 鈴岡太鼓で祝う

駄科 下平達也



成人になるにあたり、お酒やタバコが許されるようになり、それが、それだけ回りの人達に迷惑をかける可能性も増えました。成人

成人になるにあたり、お酒やタバコが許されるようになり、それが、それだけ回りの人達に迷惑をかける可能性も増えました。成人

### ヤフウ

昨年一年間で、竜丘では六十四人の赤ちゃんが、飯田市では九百八十一人の赤ちゃんが生まれました。しかし、飯田市では、死亡数が出生数を上回ったり、転入者より転出者が多くなるなど、将来にわたり人口が減少していく状態が続くと予想されています。

竜丘は、地理的に住みやすいこともあり、地区外から引っ越してくる方も多く、人口、世帯共に増えていきます。常会(組合)の単位で見ると、世帯が増え新しい常会ができる所がある一方、若者が都会など地区外で暮らし親だけの世帯が増え、児童生徒がいらない常会や、役員の手が足りない常会など、問題を抱える常会も多くあります。

少子化は、一人あたりの出生数を増やせば良いという、女性の意識や行動に基づく単純な問題ではありません。安心して出産や子育てができ、暮らし続けたい魅力のある地域であることが大切で、これが人口や世帯が減らず世代交代ができ、地域が元気であり続けることにつながります。

現在の自治会は、常会に家(世帯)の代表として男性が出席し、上部の区や自治会の役員を選出する構造が大部分を占めており、女性や若年層の意見が必ずしも反映されやすい構造ではありません。

地域自治組織導入にあたり、女性の参加の機会を増やすため、地域づくり委員会に新たに女性部会を組織し、積極的な関わりを求めています。

参加のための組織ではなく、女性の視点から地域の新たな自立的活動となるよう期待したいものです。

# 中学生が初参加 大盛況だったニューイヤーコンサート



今年、十二回を数える「ニューイヤーコンサート」が、一月二十日(土)午後一時から、竜丘公民館ホールで開催されました。

年々盛んになっていく正月恒例のイベントですが、今年には出演希望団体が例年以上に増え、出場希望者の調整をし、数団体に出演をご辞退いただく必要があった、とのことでした。

当日は、全部で二十団体の出演がありました。演奏ジャンルや演奏形態は、バラエティーに富んでおり、



大正琴合奏、合唱、独唱、ハーモニカ演奏、ハンドベル合奏、吹奏楽、箏(こと合奏)、オートハープ演奏、コカリナ演奏、オートハープとギター、アコーディオンなどの合奏、そして和太鼓演奏と変化に富んだステージでした。

このように盛況だったコンサートですが、今年、特筆すべきは中学生の出演があったことです。

今までは、中学生は比較的、地域の行事や公民館活動に参加することが少ないと言われていました。

市民運動会やスポーツ

イベントではそれなりの参加者もありましたが、小学生と比較して時間も忙しく、どうしても地域との繋がりが薄れてしまっている

です。しかし、今年には緑ヶ丘中学校から、四組の出演がありました。吹奏楽部から、金管八重奏とフルート四重奏二組、合唱部による合唱、そして一年三組の皆さんによる合唱が披露されました。「さすが中学生」と思える完成度の高いステージでした。

これを機会に、今後の公民館事業に中学生の参加が益々増えることを期待したいと思えます。

## たのしかったお米づくり 一粒の籾から始まる食農教育

一月二十六日東京の有楽町朝日ホールにて、地域に根ざした食育コンクール二〇〇六の表彰式・受賞活動発表会が行われました。全国三四団体の応募のなかから、農林漁業分野の部で審査委員会奨励賞を「あぐりの田んぼ学校、竜丘、時

り、最後に、高山さんが、自分にあった食べ方、動き方を見つけ、できることから始め、竜丘からメタボリックをなくそうと呼び掛けられました。誰もが興味を引かれる内容で、充実した講座となりました。

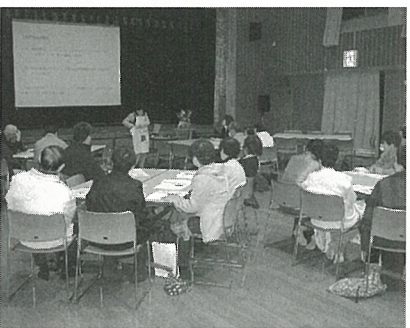
「食生活と生活習慣病」をテーマに開催され、多くの地域の方々が、自分の健康について改めて見直す機会になりました。

## 市民大学講座第二講

### 「お米」から生活改善

竜丘市民大学講座、第二講が、十二月二十日に、公民館大ホールにおいて、と、どうなってしまうかなど、体験談を交えて、わかりやすく説明され、参加者は、熱心に聞き入りました。

今回の講座は、竜丘支所保健師の高山由美さんを講師に、四十名余りの参加者があり、スライド、パネルなどを使って、生活習慣病について学びました。最近よく耳にする「メタボリックシンドローム」内臓脂肪がたまって血液のなかに、糖分や脂質が充満している、血管の内臓が傷



例年好評の竜丘小学校からは、四年生有志四人と独唱一人、五年生全員、六年生有志六人の五組が出場。学年での合唱は重厚な歌声が、小編成のグループはハーモニカの美しさが観衆を魅了しました。そして、四年生の熊谷拓也さんは堂々と名曲「昴」を歌い上げました。

その他多くの出演団体もそれぞれ特徴ある演奏を披露されました。最後の出演者鈴岡太鼓子ども連の発表。その後の全員合唱まで、会場と舞台が一体となった素晴らしいひと時でした。

又保育園」が受賞されました。地域の子供達に食や命や農業の大切さを伝えよう、とあぐり大学の卒業生である都市住民と、地元

の農家、保育園が一緒に、稲播きから収穫、調理までを体験する取り組みが今年で三年目をむかえようとしています。昨年は保育園と家庭に地域がこの活動に注目し、竜丘文化祭に食育の展示もされ、公民館で食育に取り組みむきか

## 文部科学大臣賞受賞

竜丘小学校PTA会長 渡邊 哲志

この度、優良PTA文部科学大臣賞を受賞して、前年度までの長い歴史の中で、地域の方々と深い関わりを

も誇りに思います。竜丘の地域の方々、また学校の先生のみならず、その保護者のみなさん、子どもに対する愛情、この三者によってこの地域の将来を担う子どもたちが、学校目標でもありますが、「かしこく、心ゆたかな、丘の子」

に育っているに違いありません。地域との関わりは、水辺の楽校、親子映画鑑賞会、ふるさとコンサート、資源回収等様々あります。どれも一つを取ってみても、地域の皆様のご協力なくしては成り立たないものばかりです。また近年、不審者対策

の安全について、「竜丘の子」をみんなで守るに、より密接な関係が必要

です。この受賞を機に、竜丘小学校PTAの地域に根差した活動をさらに充実させ、継続させて行かなければなりません。地域・学校・家

に育っています。四月からの自治組織の中で、PTAが持つ地域との関係が、より良い地域づくりに役立っていると思

います。この受賞を機に、竜丘小学校PTAの地域に根差した活動をさらに充実させ、継続させて行かなければなりません。地域・学校・家

に育っています。四月からの自治組織の中で、PTAが持つ地域との関係が、より良い地域づくりに役立っていると思

バドミントンを、公民館ホールで囲碁ボールを行いました。ピンポンは、卓球より大きいボールを使い、初心者でも楽しめるようボールのスピードが出ない配慮して行いました。また、バドミントンは、ダブルスで試合を行い、どの試合も熱戦を繰り広げていました。

この日は少し冷え込みましたが、歓声があがるうちに会場は熱気でいっぱいになりました。



囲碁ボール会場風景

## 寒さで熱い戦い 竜丘ソフトバレーボール大会

去る十二月三日日曜日、竜丘小学校体育館に於いて、竜丘ソフトバレーボール大会が行われました。

各分館では、予選会を行い、激戦を勝ち抜いた分館代表チームが集まりました。

当日は十二月ということもあり大変寒い日であったため、体育館には、各分館ごとに、ストーブなどの暖房やポットなどの暖かい飲み物

の用意がこちらこちらで見られました。試合が始まると、さすがに代表チームだけあって、目の覚めるようなスパイクや、見事に決まったブロックで、選手も応援団も寒さを忘れるほどの歓声が飛び交いました。各分館二試合ずつ行いましたが、第二セットまでもつれる試合や、一勝一杯の分館が多く、均衡した大変盛り上がった大会

結果は、「男子」優勝上川路、準優勝駄科、三位時又、「女子」優勝駄科、準優勝長野原、三位時又でした。

結果は、「男子」優勝上川路、準優勝駄科、三位時又、「女子」優勝駄科、準優勝長野原、三位時又でした。